

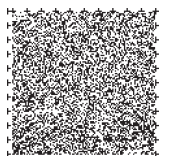
# りいぶる



表紙デザイン作者：スケノアズサさん（イラストレーター、和歌山県紀美野町在住）

今号の  
注目記事

りいぶる★アイ 特集 スポーツ×ジェンダーを考える  
キャリアデザイン講座  
“りいぶる”図書室  
今後のイベント予告



センターニュースりいぶるはSPコードにより文字情報を提供しています。情報は専用の読取装置で読み上げます。



## 特集 スポーツ×ジェンダーを考える ～女性のさらなる活躍とスポーツの未来に向けて～



ウォーキング、ランニング、野球、水泳、サッカー、登山…あなたは日頃どんなスポーツに親しんでいるでしょうか？ 健康のため、趣味としてなど目的もさまざまですが、スポーツには、これまでの発展の仕方やあり方に男女で違いがありそうです。来夏に延期された東京オリンピックを前に、今号では、和歌山県出身で、2012年ロンドンオリンピック体操競技で3きょうだい揃って出場し活躍された、田中3きょうだいのご両親のお話を交えながら、スポーツにおけるジェンダーや今後のスポーツについて考えてみましょう。

### オリンピックに見る女性アスリートの歩み



**I** 近代オリンピックは1896年第1回アテネ大会として開催されました。この大会は男子のみで行われ、女性の参加が認められたのは第2回パリ大会からで、この時の女性の種目は、テニスとゴルフのみでした。

これを機に女性の競技種目は少しずつ増えていきますが、第3回ではアーチェリー、第4回ではフィギュアスケートと大会を運営する男性から「女性らしいと見なされた」種目が認められていきました。全競技種目に女性の参加が認められたのは、夏季オリンピックでは2012年ロンドン大会からでした。

**II** 日本女性が最初にオリンピックでメダルを獲得したのは、1928年第9回アムステルダム大会で、陸上800m競技に出場した人見絹枝さんでした。それは、得意としていた100m競技で予選落ちしたため、急遽、経験がなかった800m競技に出場し勝ち取った銀メダルでした。

最初に金メダルを獲得したのは、1936年第11回ベルリン大会で水泳200m平泳ぎに出場した前畑秀子さん（本県出身）。それは、第10回大会で惜しくも銀メダルとなった前畑への金メダル獲得の期待に応えようと、4年間励み続けた末につかみ取った金メダルでした。

**III** 1920～70年代にかけては、一握りの選手が努力し続けてきたことで女性のスポーツは発展していきました。80年代以降スポーツは「観る側のスポーツ」として商業化していきます。それに伴い、シンクロナイズドスイミングなど女性だけの種目が登場します。女子マラソンがオリンピックの公式種目になったのは1984年のロサンゼルス大会からで、男子マラソンが開催された第1回アテネ大会から88年後のことでした。

**IV** 1980～90年代には女子スポーツ選手が増加し、1996年のアトランタ大会での女子選手の割合は48.4%までになり、2004年のアテネ大会以降は約半数を維持しています。

そんななか国際社会では、1994年にはスポーツのあらゆる分野で女性が公平に関わっていくことをうたった「ブライトン宣言」が採択されました（日本は2001年に署名）。2014年に採択したオリンピック改革案「オリンピック・アジェンダ2020」においては、男女平等の推進として「女性の参加率50%の実現」「男女混合の団体種目の採用の奨励」が目標に掲げられました。東京大会では陸上1600mリレーや競泳400mメドレーリレー、卓球ダブルス、柔道団体戦などの混合種目が新たに加わります。また今まで、多くの競技の最終戦は男子決勝戦でしたが、バレー

ボール、バスケットボール、ラグビー、ハンドボール、ホッケーの競技においては、女子の決勝戦で締めくくることがなっています。

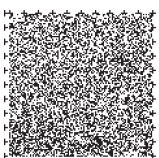
**V** 女子選手の活躍が増えるなか、取り組むべき課題もあります。女子選手の健康面と経済面です。

健康面では、体重管理のために必要なエネルギーが不足し、無月経や疲労骨折などにつながり、選手生命だけでなく、閉経後の年齢になり骨折のリスクが高まるという問題もあります。また妊娠・出産などによるライフコース（※）の変化が大きく、競技を続けることや家事・育児との両立が難しいこともあります。

経済面では、スポーツ界の男女の所得格差があります。2020年版スポーツ選手長者番付で、100位以内に入った女子は、テニスの大坂なおみ選手（女子で史上最高の約40億円で29位）とセリーナ・ウィリアムズ選手（33位）の2人だけです。賞金格差に加えてスポンサー収入額の格差もあります。2015年度スポーツ庁の調べによると、女性アスリートで収入がないと答えた人は31.7%もあります。

今後ますます女子選手が活躍するために、まだまだ取り組む課題がありそうです。

※個人が一生の間にたどる具体的な道筋、キャリア経歴のようなもの。



## オリンピック出場“体操・田中3きょうだい”のご両親 田中章二さん、誠子さんにお話を伺いました！

3きょうだい（和仁さん、理恵さん、佑典さん）そろってのロンドンオリンピック出場が決まった時は、「本当かな？」と驚くと同時に、オリンピック枠10人中3人をきょうだいで占めたのは快挙だと涙したと話す、田中章二さん、誠子さんご夫妻。

同一競技で男女の3きょうだいの出場はオリンピック史上初でした。



誠子さん

章二さん

### 3きょうだいが体操を始めたきっかけは？

章二さん：体操はさせようと思っていました。左右対称の身体の発達のためには、体操、陸上、水泳が効果的なので、体操をきっかけに身体の基本づくりをして、その後は好きなスポーツをやってくれたらいいと思っていました。子供たちが小さい頃は自宅の廊下や隣の部屋へ行く場所に、トランポリンやジャングルジムなどを置いていました。あえて教えることはせずに、寝る時にぼそとコツをつぶやき、子供たちが自分で考え自主的にやるようにしたり、観察力が身につくように心がけました。

### きょうだいで男女で指導方針の違いはありましたか？ また3人が体操を続けられた秘訣は？

章二さん：男女の別なく3人それぞれの性格に合わせて指導しました。ただ理恵には大学卒業後は選手を辞めて教員になってくれたらと思っていました。でも理恵自身、体操はまだやり足りない、大学院へ進んで選手を続けることを選びました。



和仁さん



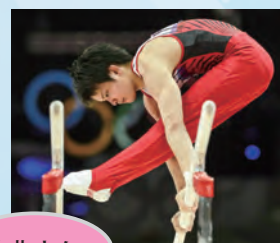
理恵さん

誠子さん：その時の理恵の本気度はすごかったですね。いつもと感覚が違いましたから。

章二さん：これが娘でなく息子だったら、きっと辞めずに続けるよう励ましただろうと思います。差をつけたつもりはないけれど、「女の子には無理して苦労させなくても」というのが父親の優しさだと思ってたんですね。あの時私の言葉で辞めていたら後悔していたでしょう。理恵は25歳でオリンピックに出場したんですが、大半の女性は高校や大学を卒業する時に辞めて、オリンピックを諦めている。理恵はその決断のとき、きょうだいから外れるのが嫌だったんだと思います。これまでも子供たちはケガや誹謗中傷などのピンチの時、互いに励まし合い、言葉をかけあってきました。それがお互い一番大きな力となり、3人が体操を続けることにつながったと思います。

### 体操では男女で求められるものに違いはありますか？

章二さん：芸術であること、美しいことが体操の原点なので、教室の子供や学生に「体操とは空間というキャンパスに自らが描き出す芸術である」と言っています。技だけでなく、次の動作へのつながりも重要で、そこに芸術があります。基本的には男女でほとんど違いはありません。ルールの差もない。ただ身体的な特徴として、しなやかな動きや柔軟性のある方が優れている。女子は観客を魅了するという点数もあるくらいで、ダンス的な要素を取り入れないといけな。男女ともに求められる、技の難しさ、正確さ、柔軟さ、洗練された美に加え、男子は力強さ、女子は優雅さが求められます。理恵が2010年の世界選手権で、日本女子初の受賞となったロンジン・エレガンス賞は、実は男子も対象となっていて、富田洋之選手や内村航平選手、白井健三選手も受賞しています。



佑典さん

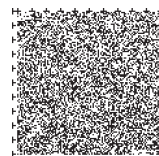
### 男女混合の種目もありますが、将来、スポーツはどうなっていくのでしょうか？

章二さん：男女混合種目は増えていくでしょうね。

誠子さん：シンクロも男女ペアでもするようになってきていますね。

章二さん：スポーツ文化のなかで平等性が作られている時期だと思います。オリンピックを目指す人は、それに合わせたルールに従わないといけなけれど、地域で楽しんでやるには男女や障害者、健常者も一緒にローカルルールでやっていいと思います。地方ルールがいっぱいできれば、その地域にあったスポーツ活動の推進ができていくのではないのでしょうか。今、見る人、支援する人など関わっている人も多く、スポーツの輪が広がってきていると思います。

※ここに掲載されている写真は、田中ご夫妻から提供していただきました。





## 大学で「スポーツにおけるジェンダー」の授業を担当する藤永博先生に、 スポーツの現状や今後についてお話をいただきました！



和歌山大学  
経済学部教授  
藤永 博さん

スポーツは、「競技スポーツ」と「生涯スポーツ」に分かれます。近代スポーツは、英国のパブリック・スクールの課外活動として始まった白人男性中心の文化です。そこに、女性や子供、様々な人種の人たちの参加により多様性が組み込まれ、平和志向、競技志向、健康・娯楽志向のスポーツなどが普及してきました。さらに1984年のロサンゼルスオリンピックあたりから、アメリカを中心にスポーツの商業化が顕著となり、“みるスポーツ”あるいは“魅せるスポーツ”という形が作り出されていきました。そのなかで、ファッション性や女性の身体の美しさが強調されることも多くなりました。

競技スポーツには、「より速く、より高く」などと、人間の身体能力の限界に挑戦する側面があります。しかし、人間が作り出せる記録、発揮できる能力には限界があり、すでにそれに近づきつつあります。そのため、今後は記録や難度の更新を目指す身体性の高いスポーツから、道具の助けを借りるスポーツや、eスポーツ※1というバーチャルの世界でキャラクターなどに“させるスポーツ”へ、興味・関心が移っていくのではないかと思います。そして、そ

うした変化は子供たちに影響を及ぼすことになるでしょう。

人は3～5歳頃にどのような基礎的身体能力を身につけたか、身体を動かすことの楽しさを知ったかによって、その後の生活習慣やスポーツとの関わり方が変わってきます。これからの私たちに必要なことは、子供たちが自由に身体を動かすことができ、その楽しさを実感できる空間・時間・機会を創っていくことです。

一方、生涯スポーツでは、男女混合、障害者と健常者の混合、大人と子供の混合など、多様性を広く受け入れた実施方法やルールが開発され、新しい展開をみせると思います。また、自然のなかで楽しみながら身体を動かし、自然をとおして学ぶ、いわゆるエコロジカル・スポーツ※2も、今後社会に浸透するのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスの感染拡大は、今後のスポーツのあり方を考えるきっかけとなるかもしれません。どのような議論になっても、未来のスポーツのカギを握るのは子供たちです。これからの子供たちにどのようなスポーツ環境を提供するかは、私たち大人の課題です。どのような社会を目指すのかを確認しながら、「市民」（シチズン）として主体的に課題に取り組んでいくことが大切です。

※1：eスポーツとはエレクトロニック（電子）・スポーツ（Electronic Sports）の略。球技や格闘技などの対戦型コンピューターゲームやビデオゲームで競う。昨年の秋の茨城国体で、国体史上初のeスポーツ大会が文化プログラムの一環として開催された。

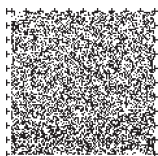
※2：競争を目的とせず、自然のなかでのんびり楽しむスポーツ。

特集では、田中3きょうだいのご両親や藤永教授にお話を伺いながら、スポーツにおける男女の公平性や今後のスポーツのかたちを、さまざまな視点から考えてきました。スポーツにおける男女平等の実現に向けては、多くの課題があることは前述のとおりです。ひとつには、指導者や役員の問題があります。女性の指導者や役員の登用を進めることは、健康面やライフコースへの配慮だけでなく、セクシュアルハラスメント問題等が起こりにくい環境づくりにも役立ち、女子選手がスポーツを継続できる環境整備につながるのではないのでしょうか。国際オリンピック委員会（IOC）は2018年に男女平等に向けた改革提言を発表し、東京大会がモデルになるようあらゆる面での男女平等を旨として取り組んでいるそうです。女子選手の参加率、プログラム、取材の頻度や性差別のないメディアの

取り上げ方などの指針も示しています。

スポーツ界でも男女平等がさらに進み、男女とも十分力を発揮して自分らしいパフォーマンスができるよう、今後も注目していきたいですね。

オリンピックの選手団に監督やコーチとして参加した女性の割合はリオデジャネイロ大会では16%、日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会の女性役員の割合は平均で19.4%といずれも低いのが現状。



ワーク・ライフ・バランス実現のための



## キャリアデザイン講座

キャリアデザイン ～自分らしい『選択』をするために～

令和2年9月2日(水) “りいぶる”会議室 A 10:00～17:00

10年間の京阪電気鉄道(株)での勤務経験を持つ武田さんは、ご自身の経験を紹介したあと、まず参加者(若手女性従業員(入社5年未満程度))が何を知りたいかの意見を募ったうえでお話を始められました。

キャリアを考えるうえで重要なのは「**自分を知ること**」だとし、今の自分の仕事の現状を把握することを中心に、やりたいことができているか、長く働ける環境であるかなどについて、ワークを通して分析していきました。

講師は、日本の女性は結婚・出産で一度仕事を離れ、子供がある程度大きくなってから、パートなどの非正規職として復帰するという形が多い「M字型就労」のお話や、女性が出産後仕事に復帰しても家事育児のしやすい単調な業務にしか就けず、モチベーションが下がり、やりがいを見い出せなくなる「マミートラック」という問題もあると話されました。人は、**現実と理想にあまりに差があると、それがストレスとなることがあり、その対処法として理想を下げる**こと、または**苦しかったら現状を変えていくこと**などについて説明され、もし自分が今の職場でしんどいなと思うことがあるなら、自分がリーダーとなるポジションに就いて、その体制を変えていくことが大切だと話されました。

キャリアデザインの方法には「山登り型」と「いかだ下り型」があり、「山登り型」は「Have 持ち物(年収)」と「Do 職務」の両方を持っていて目標が明確な人であり、こういう人には協力者が現れ、自分のキャリアを実現していけると言います。一方「いかだ下り型」は目標が決まっていないが、チャンスをつかむ良い偶然がしばしば起こると言います。この「**良い偶然**」を作り出すには、①好奇心の強さ ②継続力 ③楽観性 ④冒険 ⑤柔軟性の5つが必要であり、特に大切なのは「**好奇心の強さ**」だと話されました。この好奇心を持ち続けるコツの例として、職場の食事会などで幹部となる部長・課長クラスに「過去の部署でどこが一番楽しかったか?」「過去のポジションでどれが一番楽しかったか?」の2つの質問をすると、仕事の面白さや部下を持つことがどういことなのかといった話を聞くことができると話されました。

今の職場で「**幸せ**」になることや自分がどういう存在として働いていくかを考え、自分が大切にしていきたいことを毎日5分でいいから実践し、「今」に集中することでキャリアをつみ、道を拓いていくことができると話されました。



講師：武田由利子さん

慶愛学院・  
キャリアコンサルタント・  
産業カウンセラー

参加者からは、

「自分を考えなおすきっかけになった」

「心のどこかで不安に思っていたことを今日の講座で自分なりに整理でき、軽くなりました」

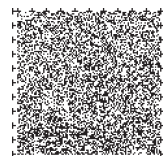
「もっとたくさんの女性が楽しく自由に自立できる社会になればいいなと思いました」

「すぐ今の自分の仕事への取り組み方を認めてもらえた気がして、より一層はげもうと思います」

「自分のことをもっと知ろうと思うきっかけになりました。何か、悩むことがある時には、今日教えて頂いたことを思いだしながら、よりよい人生にしたいと思います」などの声をいただきました。



いま夢や目標がなくてもキャリアをつむことはできる!  
大切なことは**自分を知ること!**



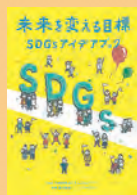


**女の子だって、野球はできる！**  
「好き」を続ける女性たち

著 者：長谷川晶一  
出版社：ポプラ社

多くの女子選手が活躍するなか、未だ「野球は男子のスポーツ」というイメージがある。しかし、日本の女子野球のレベルは世界一（ワールドカップ6連覇！）。そんな素晴らしい功績にたどり着くまでには様々な困難と挫折があった。女子野球人口が少なかった時代に、野球が好き、野球がしたいという強い気持ちと不屈の闘志で乗り越えてきた体験から、夢を諦めずに続けてほしいという強いメッセージが伝わってきた。

夢に向かって頑張っている人に読んでほしい一冊。



**未来を変える目標**  
SDGs アイデアブック

編 者：一般社団法人 Think the Earth  
編集協力：独立行政法人国際協力機構 (JICA)  
監 修：蟹江憲史  
発行元：一般社団法人 Think the Earth

SDGs を「未来を変える目標」と位置づけ、それに向かってすでに行動を始めている世界の人々の多彩なアイデアを17の目標のテーマごとに説明しながら紹介。「このままでは、この美しい地球を子・孫・ひ孫の代につないでいけない」という強い危機感のもとに生まれたSDGsを、世界のどこかで誰かが取り組む遠い存在とするのではなく、自分ごとにしてしようと提唱している。

子供から大人までを対象とした、絵本感覚で読めるSDGs入門書。



**ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい**

著 者：大前粟生  
出版社：河出書房新社

男子大学生の七森は、ぬいぐるみと話すサークル、「ぬいサー」に入っている。ぬいサーのBOXにいと期待される「男らしさ」や「女らしさ」に関係なく、ありのままの自分でいられて居心地がいい。BOXにはサークルのぬいぐるみがたくさんあり、その中から自分の好きなぬいぐるみを選んで、人に話せない辛い気持ちを話すのだ。でも本当は誰かに、しんどい気持ちや悲しい気持ちを聞いてもらって、ありのままの自分を肯定してほしいと思う。戸惑いながらも一歩を踏み出していく若者たちの青春ストーリー。



**ドリーム**

DVD

監 督：セオドア・メルフィ  
2016年 アメリカ

1960年代初め、ソ連との宇宙開発競争下、初の有人宇宙飛行計画をNASAの頭脳として支えた黒人女性たちの実話を映画化したもの。彼女たちには、トイレやコピーメーカーが人種で分けられ、職種の選択や管理職昇進を阻まれるなど、人種に加えて女性であることへの差別と偏見という二重の壁が立ちはだかっていた。しかし彼女らは声高に平等を叫ぶのではなく、仕事も家庭も両立させながら才能と実力で成功をつかんでいく。重いテーマにもかかわらず、全編を通してユーモアにあふれ痛快な作品となっている。

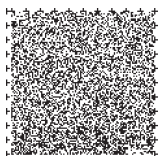


**SDGs (エス・ディー・ジーズ) を知ろう！ ①**

このマーク、街なかで見かけたことはありませんか？ これは、SDGs (エス ディー ジーズ) のマークです。SDGs は、Sustainable Development Goals (サステイナブル・ディペロップメント・ゴールズ) の略称で、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されます。「誰ひとり取り残さない」という理念のもと、2015年に国連総会で採択され2030年までの15年間で達成しようという、持続できるより良い未来をつくるための目標です。目標は17あり、それぞれ色分けされています。背景には、急激な気候変動や地球温暖化による災害の多発、貧富の格差、紛争による難民や避難民の増加などの世界的な危機感があります。また、国、国連、企業、研究者、女性、若者などさまざまな人々がかかわって成立した経緯から、世界中の誰もが主体的に取り組めるようになっていきます。例えば、「テーブル・フォー・ツー」事業があります。これは、SDGsに賛同する飲食店でカロリー控えめの健康食を摂ると、その代金のうち20円が自動的に途上国の子供の給食(1食分=20円)に充てられ、ヘルシーな食事が肥満防止になると同時に、飢餓を減らせるという2つの効果が生まれるのです。まずは、知ることから始めませんか！



\*次回は、目標5の「ジェンダー平等を実現しよう」を詳しく説明します。



## 『女性活躍企業同盟』に参加しませんか？

県では、女性の継続就業やキャリア形成に率先して取り組む企業及び団体を「女性活躍企業同盟」として組織化し、セミナーや交流会を通じて取組の充実を図り、女性が安心して働くことができる環境整備を促進しています。

参加要件は3点

- ①「働く女性の活躍を応援する企業」と宣言すること。
- ②女性の能力が十分に発揮できる取組を行っていること。
- ③女性が継続して働きやすい職場環境を整備し、全従業員に周知していること。

詳しくは、以下のQRコード又は「女性活躍企業同盟」で検索。

女性活躍企業同盟に参加し、  
だれもが活き活きと働くことができる  
和歌山を目指しましょう！

女性活躍企業同盟

検索



## 今後のイベント予告

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止や延期の場合があります。

<p><b>語り合い広場</b> 「“りいぶる”やさしいジェンダー講座」 (2回連続講座) 日時：2020年10月3日・17日(土) 13:30～15:30 講師：市場恵子さん (社会心理学講師・カウンセラー) 会場：“りいぶる”会議室A</p>	<p><b>語り合い広場</b> 「男性が介護するということ ～新しい介護社会のなかで～」 日時：2020年12月5日(土) 13:30～15:30 講師：津止正敏さん (立命館大学産業社会学部教授) 会場：“りいぶる”会議室A</p>	<p><b>語り合い広場</b> 「子供と取り組む防災 ～ウィズコロナの時代に～」(仮題) 日時：2021年1月下旬～2月上旬予定 講師：あんどうりすさん (アウトドア防災ガイド) 会場：紀の川市打田生涯学習センター (予定)</p>
<p><b>シアター Café “りいぶる”</b> 「ビリーブ/未来への大逆転」 日時：2020年11月8日(日) 13:30～16:15 会場：“りいぶる”会議室A 定員：20名</p>	<p><b>シアター Café “りいぶる”</b> 「マイビューティフルガーデン」 日時：2021年3月7日(日) 13:30～16:00 会場：“りいぶる”会議室A 定員：20名</p>	<p><b>保育つき読書の時間</b> 子育てで忙しく自分の時間が持ちにくい方に 日時：2020年11月26日(木) 10:00～12:00 会場：“りいぶる”図書・交流スペース 定員：10組</p>
<p><b>ワールド・カフェ</b> 大学生と社会人の本音ミーティング in 和歌山 2020 日時：2020年10月24日(土) 13:30～16:00 講師：金川めぐみさん (和歌山大学経済学部准教授) 会場：“りいぶる”会議室A 対象：大学生、企業にお勤めの人</p>	<p><b>女性リーダー養成講座</b> 【Part 1】 2021年1月22日(金) 10:00～17:00 会場：“りいぶる”会議室A 講師：谷水美香さん(ヒューマン・トータルバランスサポートリント) 【Part 2】 2021年2月2日(火) 10:00～17:00 会場：“りいぶる”会議室A 講師・コーディネーター：本庄麻美子さん (和歌山大学経済学部講師・カウンセラー)</p> 	
<p><b>公開セミナー 上野千鶴子さん講演会</b> 「自分らしく生きよう ～社会を変えるのは、私たち～」 日時：2021年2月19日(金) 19:00～20:30 会場：和歌山ビッグ愛 1階大ホール 定員：100人(一時保育あり)</p> 	<p><b>ラッキー BOOK キャンペーン</b> スタッフおススメの3冊が入った本の 福袋の貸し出しを行います♪ 期間：2021年2月2日(火) ～3月14日(日) * 3月14日(日) 10:00～11:30 「ブック Café “りいぶる”」(読書会)</p>  	

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用にご協力ください。

自分を大切にするために…。 “りいぶる” 相談室  
**相談受付専用ダイヤル 073(435)5246**

相談は無料。専門の相談員がお話をうかがいます。  
 秘密は厳守です。ナンバーディスプレイは使用していません。

**総合相談**

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に男女共同参画相談員が応じます。

**電話相談**

- (火水木金土)○ 9:00～20:30 (受付は20:00まで)
- (日) 9:00～17:00 (受付は16:30まで)

**面接相談【予約制・女性のみ】**

- (火水木金土)○ 9:00～17:30 (受付は16:30まで)
- (日) 9:00～16:00 (受付は15:00まで)

**女性のためのカウンセリング**

女性が抱えるところの問題に女性カウンセラーが応じます。

**面接相談または電話相談**

- (金)○○ 13:00～15:40 ※第2・第4金曜日
- 予約制、各日3人まで。  
 相談時間は1人40分。

**女性のための法律相談**

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に女性弁護士が応じます。

**面接相談のみ**

- 月3～4回 13:00～14:50
- ※日程は“りいぶる”までご確認ください。
- 予約制、各日3人まで。  
 相談時間は1人30分。

**男性のための電話相談**

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に男性相談員が応じます。

- (水)○○○○ 16:00～20:00 (受付は19:30まで)
- ※毎月第2水曜日  
 予約優先(匿名可)  
 相談時間は1人40分程度

性暴力について  
 相談したい…

**性暴力救援センター和歌山**  
 マイン  
**わかやま mine**

(和歌山県立医科大学附属病院内)

◆相談受付専用ダイヤル

オーエンキューキュー  
**073-444-0099**

- 相談 毎日/9:00～21:30
- 緊急医療 毎日/9:00～22:00

ここらとからだの回復のために、女性支援員が細やかな支援を行います。  
 ひとりで悩まずに相談してください。



☆表紙デザインについて☆

作者のスケノアズサさんは、美術大学を卒業後、似顔絵作家として活動。新婚旅行で世界一周し、その時出会った山岳民族の暮らしに憧れ、帰国後、紀美野町に移住。現在、毎日新聞にてイラストコラム「カントリースケッチ」と育児4コママンガ「ペコモコちゃん」を連載中。2019年大桑文化奨励賞、2020年第21回ピンポイント絵本コンペ最優秀賞を受賞。

表紙の主人公は、自然の中で自由に暮らす双子の小人で、アケビをスプーンで食べる小人と食べ終えた殻の中で眠る小人が描かれています。

“りいぶる”はフランス語で「自由な(libre)」という意味で、センターの愛称です。



◆発行 和歌山県男女共同参画センター “りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2  
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

TEL (073) 435-5245  
 FAX (073) 435-5247

《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp

開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時  
 日曜：午前9時～午後5時30分

休館日 月曜・祝日  
 年末年始(12/29～1/3)

りいぶる  検索

フェイスブックも更新中♪

一企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山eかんばんにいー